

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価							
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①-そう思う、②-ややそう思う、③-あまりそう思わない、④-そう思わない)				自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない			
			評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策
進路・学研	重点目標Ⅰ	進路探求への取組	アンケート1 「進路について相談している」	<p>■① ■② ■③ ■④</p> <p>生徒: 0.35483871, 0.454545455, 0.1583577700324580 保護者: 0.311036789, 0.464882943, 0.2006688900234113 教員: 0.56097561, 0.43902439</p>				3			<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導主事講話は、生徒の実状に合わせて、具体的な事案を挙げながら、進路実現に向けてのポイントや最新の情報等を、直接提供できる数少ない機会である。しかし、本校の生徒は、多岐にわたる進路を抱えるため、進学(四大、短大、専門学校)、就職(公務員、一般企業)などそれぞれ全般的な内容になりがちになるのは致し方ないので、生徒が話を聞くだけで満足して終わらせるのではなく、進路探求のきっかけになるようにしたい。 ・インターンシップに関しては、事業規模により受け入れ困難な企業もあったが、このコロナ禍の状況にもかかわらず、受け入れ企業側では、前向きに捉えて取り組んで頂いた。今後は、就労体験を通して、学んだり、感じたりすることが多くあるので、この機会を積極的に利用してもらいたい。 ・職場見学会実施に向けて準備を進めていたが、オミクロン株の感染拡大を受けて、直前に受け入れ企業からストップがかり、今年度も実施できなかった。外部との協力を得ながら実施する行事に関しては、業種に関わらず、感染拡大の影響を受けるのはやむを得ないことである。
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導主事講話 ・インターンシップ(12月実施予定) ・職場見学会(2月実施予定) 								
学研	重点目標Ⅱ	進路講演会・企業学校見学会の実施	アンケート2 「進路講演会や学校、企業見学は役立つ」	<p>■① ■② ■③ ■④</p> <p>生徒: 0.439882698, 0.48973607, 0.089546897 保護者: 0.381270903, 0.511705686, 0.070019389 教員: 0.487804878, 0.512195122</p>				3.0			<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」では生徒の自己理解や進路意識の高揚、聞く力や話す力を高めるうえで重要な役割を果たしているが、個別の対応が必要な生徒も増えてきており、生徒の状況等に応じて、授業内容の見直し・精選が必要ではないかと考える。 ・「探究Ⅰ」「探究Ⅱ」においても機会を設けてガイダンス等進路意識の高揚を図る学習を実施している。今後も継続していくことが大切である。
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次「産業社会と人間」で、「職業に関する講話」(5月19日)、「進路ガイダンス・パネルディスカッション」(5月26日)、「職業講話・フューチャーライブ」(7月7日)、「マナー講習会」(10月6日)、「職業インタビュー」(11月2日4日) ・2年次「総合的な探究の時間Ⅰ」で、「進路指導主事からの進路講話」(4月27日)、「進路適性テスト」(5月11日)、「資格検定ガイダンス」(5月18日)「卒業生講話」(6月1日)、「職業講話」(7月6日)、「上級学校・職場見学」(10月5日) ・3年次「総合的な探究の時間Ⅱ」で進路相談会(5月22日) 								
		進路意識の高揚	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に従い実施 ・行事ごとに記録用紙への記入 					3		
教務	重点目標Ⅲ	科目選択指導	アンケート3 「進路にあった科目選択ができています」	<p>■① ■② ■③ ■④</p> <p>生徒: 0.340175953, 0.521994135, 0.11436950604 保護者: 0.331103679, 0.588528428, 0.1083104884 教員: 0.341463415, 0.585365854, 0.0731707</p>				3			<ul style="list-style-type: none"> ・科目選択に関して、「探究Ⅱ」「産社」の中で科目選択ガイダンスを実施した。また、科目選択相談月間を設定し、科目選択を考える時間を十分に確保することが出来た。また、三者面談で希望進路と科目選択を同時に確認することで、進路実現に必要な科目をとりこぼすことがないようにした。生徒・保護者の評価も昨年比べて改善している。 ・一昨年にブロック表の見直しが行われ、また、生徒数が減少していることにより、今年度も抽選になる講座数は少なくなった。しかし、次年度より新しい科目が増えることで選択について全職員の共通理解が必要となる。生徒の進路希望がより実現できるような科目選択になるように努めることが大切である。
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次については「総合的な探究の時間Ⅰ」で2時間、ガイダンスを1回実施した。夏季休業中に保護者との三者面談を実施した。 ・1年次については「産業社会と人間」の授業で5時間、LHRで2時間、ガイダンスを1回、保護者向けにガイダンスを1回、さらに夏季休業中の三者面談で対応した。 ・科目選択相談月間を設け、各教科の担当者に生徒が自由に相談や質問できるようにした。 								
教務		教育課程編成の工夫	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における教科内検討会 ・教育課程委員会 					3		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度から始まる新学習指導要領に対応した教育課程について、各教科の協力により、スムーズに教育課程を作成することができた。また、新たな評価基準についても策定済みである。 ・次年度からの新しい科目に対応すべくブロック表の作成が急務であると考える。生徒の進路希望に即した科目選択が円滑に進められるよう工夫していきたい。

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価							
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)				自己評価 4ーできている 3ーまあまあできている 2ーあまりできていない 1ーできていない			
			評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策
生指	1 基本的 生活習慣の 確立	服装・頭髪検査の 徹底	アンケート4 「服装、頭髪遅刻指導して いる」					4			各服装頭髪検査の実施については、今年度より各年次に生徒指導部員を配置し、統一した基準で実施できるように取り組んだ。しかしながら、教員間の共通理解が十分に図られているとはいえず、特に日常生活での指導には温度差がある。今後は教員間の共通理解を図るための協議会や研修を行い、同じ理念で指導にあたるようにしていきたい。今年度から平常時に生徒指導部員による登校指導を実施した。アンケート結果からも生徒の意識はかなり変化してきていると捉えることができる。また、登校指導をさらに効果的なものとするため、重点指導期間を設け、全職員での指導を実践することができた。
		具体的な取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・集会時の服装頭髪検査を実施 ・県下一斉服装指導に合わせ、登校指導及び服装頭髪検査の実施 ・登校指導の実施 ・重点指導期間の実施 							
		交通ルールの遵守	アンケート5 「交通安全指導の実施」					3	3.5	自損の転倒事故や軽度の接触事故が多く起きているが、中には重大事故につながりかねない事例もある。なによりも生徒自身の安全意識が最も重要なので、意識を高めるような啓発を考えていきたい。今年度はPTA健全育成委員の協力をいただき、自転車走行一斉指導を実施することができた。道路環境の整備については、外部関係団体各部署と連携し、改善することができている。駐輪場点検では届け出外の自転車での通学があり、事故や盗難被害等が懸念される。	
	具体的な取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生に交通講話を実施 ・年間3回自転車走行一斉指導の実施 ・クラス掲示による啓発 ・駐輪場点検の実施 ・学校行事を活用した交通安全指導 								
	挨拶や言葉遣いの指導	アンケート6 「情報機器を適切に使用 している」					3	3.0	概ね良好ではあるが、新入生オリエンテーション時の講演会が中止となったこともあり、新入生の不適切な使用が数件あった。教室や校舎内でのゲームや歩きスマホ、イヤフォンで音楽を聴きながらの自転車走行や歩行が多く、法律や条例、マナーを教える指導が必要である。今後は情報科との連携をはかり効果的な指導を模索していきたい。		
	具体的な取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めに情報機器の取り扱いについてルールの周知 ・集会時に情報機器の取り扱い及びSNS等の使用についての指導 								
問題行動の未然防止	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・生活に関するアンケート調査実施 ・いじめ対策委員会実施 ・登校指導及び服装頭髪検査の実施 ・重点指導期間の実施 ・各種講話等の実施 				3		3.6		予想される問題行動については、年次や各部署、各教科と連携を図りあらゆる場面で指導にあたることができた。生徒は、集団への帰属意識・仲間意識から安易な気持ちで軽率な行動をしてしまう事案が見られた。また、スマートフォンやSNSの不適切な使い方から問題行動やその他の問題に発展するケースが報告されている。保護者との連携を含め年次の先生方の対応が大変であることから、学校全体での指導・サポート体制を充実させていくことが重要である。	

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価						
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)				自己評価 4ーできている 3ーまあまあできている 2ーあまりできていない 1ーできていない		
		評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策
教相	3 教育相談の充実	挨拶や言葉遣いの指導	アンケート7 「挨拶・ことばづかいがきちんとしてできる」					4	4.0	挨拶については実践した指導が成果を上げ、校内だけでなくPTAや外部からも評価をいただき、アンケートからも読み取ることができる。言葉遣いについてはこれからの課題が多い。
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 集会時の全体指導 登校指導における生徒への声かけ 生徒会への協力依頼と登校指導における生徒への声かけの実践 		4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談に関する情報を、1年次には入学式とガイダンスで提供し、また、全校生徒に対し教育相談だよりを配布して周知することができた。 カウンセリング終了後、SCと打ち合わせを持ち、相談の状況や生徒の情報共有を行った。 今までの関わり方ではうまくいかなかった生徒の特徴やその対応の仕方について研修を行った。様々なアプローチの仕方を先生方と学ぶことができた。 アンケートの結果から、教育相談等で悩みを相談できる(ややそう思う)生徒が7割近いが、3割超の生徒はそう思わない(あまりそう思わない)と答えている。生徒が必要と感じた時にいつでも相談できる体制や環境を、より整備していくことが必要である。 			
教育相談の充実	アンケート8 「教育相談等悩みを相談できる」	<ul style="list-style-type: none"> 木曜日の午後にはSCによる教育相談を実施。 入学式で保護者へSCの紹介、1年生対象の教育相談ガイダンスの実施。 教育相談利用を呼び掛ける掲示物や、教育相談だよりの発行。 教員対象に気になる生徒の調査。 教員対象の教育相談校内研修会を実施 						3	3.0	<p>中間評価と比べると、授業や家庭学習に真剣に取り組む項目について、取り組んでいない生徒の割合が微増している。授業のわかりやすさについてはあまり変化が見られない。授業への理解度の低さから学習意欲の低下および学習態度の悪化につながっていることが思われるため、特に、学習意欲の低い生徒に対するはたらきかけが重要だと考えられる。「知りたい、学びたい」意欲は全ての生徒が持っていると思われるので、生徒の興味・関心を高める工夫を行い、「わかる授業」を展開しながら、授業に対して前向きに取り組む姿勢を育てたい。</p> <p>また、残念ながら期末評価においても「授業改善に努めている」の項目で「あまりそう思わない」と回答している教員が見られる。教員の努力なくして生徒の学習態度改善はあり得ない。教員一丸となって授業改善に努めていけるよう、研修等に努めたい。</p> <p>また、ICTを活用した授業について、全教科で実施する校内研修会でもICTを取り入れた授業が複数あり、教員の授業改善につながることを期待できる。今後も研修を重ね、視覚的なアプローチやアクティブラーニングを取り入れることで生徒の理解度を深めていきたい。さらに、次年度から始まる1人1台端末を用いての学習において、朝自習や家庭学習にも取り入れることで学習の習慣化および基礎学力の定着に繋げたい。</p>
教務	重点目標Ⅲ 1 学習習慣と基礎学力の向上	授業態度の育成		アンケート9 「授業は真剣に受けている」		3	3.0			
授業改善		アンケート10 「授業は分かりやすい」	<ul style="list-style-type: none"> 朝自習(毎日) 1年次数・英増単 全年次における国数英の全員履修 	3						
具体的な取り組み		内部評価								

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価																											
担当	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)				自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																						
			評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																			
図書	基礎 学力の 向上と 進路 実現	図書室利用の促進	内部評価 (図書館運営委員会・ 読書調査アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> 総探他授業でレファレンスサービスを実施した。 図書室のコーナー展示や昇降口への資料掲示、クラスへ展示資料作成を随時行い、図書館報の発行作業も行った。 一部年次だけで、図書室企画を紹介した。 視聴覚室関係の修繕は進まなかった。 				3		3.5	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行先変更にも対応し、生徒と教員の希望図書は可能な限り購入している。 コロナ禍で校外行事は見送りとなったが、図書ビンゴ等校内行事は実施できた。1月に1冊も本を読まない割合72%を下げる新企画も考えたい。 視聴覚室の改善が可能かを検討する。 																			
進路		課外による実力養成・小論文指導の充実	アンケート11 「課外・小論文、三者面談等は、進路実現に役立っている」	<table border="1"> <caption>アンケート11の結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>0.290322581</td> <td>0.554252199</td> <td>0.140760146697</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0.274247492</td> <td>0.555183946</td> <td>0.1505016720066</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>0.341463415</td> <td>0.634146341</td> <td>0.0243902</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				対象者	①	②	③	④	生徒	0.290322581	0.554252199	0.140760146697		保護者	0.274247492	0.555183946	0.1505016720066		教員	0.341463415	0.634146341	0.0243902		4		4.0
	対象者	①	②	③	④																									
生徒	0.290322581	0.554252199	0.140760146697																											
保護者	0.274247492	0.555183946	0.1505016720066																											
教員	0.341463415	0.634146341	0.0243902																											
	資格取得・検定の奨励	アンケート12 「資格取得・検定試験等に 取り組む」	<table border="1"> <caption>アンケート12の結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>0.457478006</td> <td>0.366568915</td> <td>0.14956007763029</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0.408026756</td> <td>0.397993311</td> <td>0.167224080267558</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>0.585365854</td> <td>0.390243902</td> <td>0.0243902</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				対象者	①	②	③	④	生徒	0.457478006	0.366568915	0.14956007763029		保護者	0.408026756	0.397993311	0.167224080267558		教員	0.585365854	0.390243902	0.0243902		4		4	<ul style="list-style-type: none"> 資格・検定へ向けて、課外授業(予定を含む)を実施するなど、各科を中心によく取り組んだ。
対象者	①	②	③	④																										
生徒	0.457478006	0.366568915	0.14956007763029																											
保護者	0.408026756	0.397993311	0.167224080267558																											
教員	0.585365854	0.390243902	0.0243902																											
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 夏季課外5日間(1年次~3年次)実施。冬季課外3日間(1年次・2年次)予定。 小論文・作文講習会(3年次)、小論文指導(3年次)を実施。 三者面談(3年次)実施。 																											
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 4月より年間を通して予定通り実施。 																											

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価					自己評価			自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																							
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)					4-できている	3-まあまあできている	2-あまりできていない		1-できていない																						
生徒会	重点目標 IV	健康な心身の育成	評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)																									
			部活動加入率の向上	アンケート13 「部活動に参加している」	<table border="1"> <caption>アンケート13「部活動に参加している」</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>0.627565982</td> <td>0.099706746</td> <td>0.70381232</td> <td>0.202346041</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0.240802676</td> <td>0.434782609</td> <td>0.284280936</td> <td>0.0401337</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>0.73170732</td> <td>0.463414634</td> <td>0.390243902</td> <td>0.07317073</td> </tr> </tbody> </table>					対象者	①	②	③	④	生徒	0.627565982	0.099706746	0.70381232	0.202346041	保護者	0.240802676	0.434782609	0.284280936	0.0401337	教員	0.73170732	0.463414634	0.390243902	0.07317073						・4月当初の部活動加入率は2.3年生も含め、83%となっているが、2月現在の1.2年生のみ加入率は、67%と大きく減少している。同時期の昨年度の72%と比べても減少傾向にあり、部活動の加入率より継続率の向上が問題である。昨年度より、コロナ禍の影響で活動への制限や大会等の中止または制限により、意欲が低下した生徒が増えてきたのではないかと分析される。アンケート13「部活動に参加している」の質問に対し、62%の生徒がそう思うと回答した。一昨年の結果79%と比較すると、大きく減少しており、更に保護者、教員からの回答も例年より大きく減少している。今後、コロナ禍が落ち着きつつ次年度以降、大会も例年通り開催されれば、また、活発な部活動への取り組みが再開されることを期待しているが、学校としても部活動の取り組みを今以上に発信すること、魅力ある部活動の取り組みを進める必要がある。
対象者	①	②	③	④																															
生徒	0.627565982	0.099706746	0.70381232	0.202346041																															
保護者	0.240802676	0.434782609	0.284280936	0.0401337																															
教員	0.73170732	0.463414634	0.390243902	0.07317073																															
			大会等の応援体制づくり	内部評価	・コロナ禍の影響により、今年度は野球応援に向けての応援団の募集は実施しなかった。					3	3.3																								
			校内文化祭の成功	アンケート14 「生徒会活動が活発だ」	<table border="1"> <caption>アンケート14「生徒会活動が活発だ」</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>0.624633431</td> <td>0.304985337</td> <td>0.000582979</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0.334448161</td> <td>0.518394649</td> <td>0.14046808889</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>0.365853659</td> <td>0.56097561</td> <td>0.07317073</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					対象者	①	②	③	④	生徒	0.624633431	0.304985337	0.000582979		保護者	0.334448161	0.518394649	0.14046808889		教員	0.365853659	0.56097561	0.07317073					・今年度の小文化祭については、コロナ禍の影響で会場をバルセ飯坂に変更して実施した。各クラスの発表については行事が錯綜し、限られた準備期間中、素晴らしい発表が多く、年次の先生方には感謝申し上げた。しかし、準備物がほとんど整っている会場を使用したため、生徒会役員で準備・運営を賄うことができず、他の委員会の活動に繋げることはできなかった。 ・他の生徒会行事についても、コロナ禍の中、中止ではなく実施方法変更しながら実施できたことは、今後の活発な生徒会活動に繋げることが出来たと思う。 ・生徒会総務会に学校をよくするために生徒会のできることを投げかけ、生徒自ら挨拶運動に取り組めたことは、主体的に活動できる生徒会に向けて良い成果となった。		
対象者	①	②	③	④																															
生徒	0.624633431	0.304985337	0.000582979																																
保護者	0.334448161	0.518394649	0.14046808889																																
教員	0.365853659	0.56097561	0.07317073																																
			キャンペーン活動の展開	内部評価	・コロナ禍の影響により、外部から依頼されるマナーアップキャンペーン等は実施されなかった。 ・生徒会総務会独自で、挨拶のできる学校を目指し、定期的朝の登校時に昇降口に立ち挨拶運動を実施した。					4	3.0																								
			具体的な取り組み							3																									

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価						自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策			
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)				自己評価 4ーできている 3ーまあまあできている 2ーあまりできていない 1ーできていない					
			評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)				大項目 (平均)
学研	2 ボラン ティア 活動 の 推 進	ボランティア活動の推進	アンケート15 「ボランティアに参加したことがある」					2	2.0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の地域学校協働推進委員会においてボランティア及び地域行事への参加について確認を行い、依頼があった場合に対応できるようにした。 ・今年度もコロナにより、外部からのボランティア要請がほとんどなく、生徒が活動できる機会もなかった。今後依頼があった場合に対応できるように準備をしておきたい。 		
		具体的な取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生を対象に、ボランティア学習会を実施し、本校のボランティア活動の内容や流れなどを説明した。 									
		地域行事への参加	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科、福祉科と中心とする教科、部活動、生徒会委員会等で地域や施設から依頼されたボランティアへの参加、地域行事への参加を行った。 									
施設	重点 目標 IV 3 環 境 美 化 ・ 環 境 整 備 健 康 な 心 身 の 育 成	性に関する講演会の実施	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり実施 				3.7	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育講演会はそれぞれの年次に必要な内容で年次ごとに実施した。1年次7月、3年次は10月に実施、2年次は2月に予定している。1年次は夏休み前に行うことができ、大変有効であるので今後も継続していきたい。LHRでの実施となるため日程や内容・講師選定など各年次と連絡調整しながら進めたい。 ・校内美化活動では今年度、重点区域をトイレと南校舎1階教室・廊下に設定したが、カビ発生の問題は一部だけに関係する問題なので、次年度は全区域に関係する重点項目を示したい。環境委員会、HR役員、ボランティア生徒によるワックス清掃が2年目になるが、教室・廊下に加え、南校舎東西階段のワックス清掃を実現することができた。通常清掃ではアンケート結果から、校舎が古くてもきれいに掃除されていると思われるような清掃を目指すように生徒に呼びかけていきたい。 ・今年度の防災避難訓練は6月に地震、11月に火災を想定して実施した。目的としては災害に応じて、安全な避難経路・避難方法を選択できる態度を養うことである。秋の訓練は飯坂消防署に通報訓練のみ指導いただいた。また、防災点検は8月と3月に実施している。 		
		校内美化	アンケート16 「清掃はまじめに行っている」										
		具体的な取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めの職員会議で、清掃目標は『一人一役清掃の実現』、今年度重点区域はトイレおよび南校舎1階の教室、廊下・階段とし、職員間の共通理解を図った。 ・ワックス清掃は12月に南校舎1階(1年次)教室、南校舎東西階段、1月に南校舎2階(3年次)教室を実施、2月に1・3年次廊下、3月に南校舎3階(2年次)教室・廊下を計画之中である。 									
		防災・安全点検の実施	内部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり実施 									

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価					自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策		
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①ーそう思う、②ーややそう思う、③あまりそう思わない、④ーそう思わない)				自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)
総務	家庭・地域との連携	保護者との連携	アンケート17 「配布物は持ち帰って見せている」	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	4			PTA役員向けの通知に関しては、確実に実行できた。
			具体的な取り組み	PTA各種活動日及び集計締切日より一か月以上前に、通知を配布する。							
教務		家庭への情報発信	アンケート18 「学校からのメールやホームページなどを確認している」	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	3	3.7	3.7	中間評価と比べると、わずかではあるが、保護者からの肯定的な回答が増加している。今後も、一斉メールやホームページを利用して、情報発信に努めたい。
			具体的な取り組み	年次保護者会や学校公開等、プリントを配付した上でメールでの案内も出している。また、今年度からホームページの更新をこまめに行っており、「北高NEWS」として授業や行事の様子、部活動報告などもホームページ上にアップしている。							
学研		地域との連携	アンケート19 「地域との連携が図られている」	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	4			<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解講演会を行い、1年次では「産社」の時間で講演で同ったことを基に校外学習を行い、地域への理解を深めることが出来た。また、地元飯坂町の史跡についての講演会を聞き、各自で調べ学習もを行い、さらに実際に巡検を行うことを計画していたが、大雪により中止となった。調べた内容で記録集をまとめることができた。 ・2年次の講演会では、飯坂温泉観光協会の方より、飯坂町の観光についてお話を伺い、地元への理解が深まった。課題研究テーマ設定への参考になったとの感想もあった。 ・地元飯坂町との連携は、探究学習を行う上で大変重要である。今後も様々な場面で連携をしていけるようにしたい。
			具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解講演会(講師:いざかサポーターズクラブ)の実施(4月)1年次 ・飯坂町理解講演会(講師:元福島市職員)の実施(12月実施予定)1年次 ・飯坂町研究(飯坂町巡検・飯坂町検定)の実施(1月実施予定)1年次 							

令和3年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標	アンケート資料・自己評価						自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																					
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	アンケート調査評価点の見方 (①-そう思う、②-ややそう思う、③-あまりそう思わない、④-そう思わない)				自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																							
			評価方法 アンケート	生徒 341人/396人 85%	保護者 299人/396人 76%	教職員 41人/41人 100%	学校評議員 3人/3人 100%	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)																					
教頭	満足度	意義ある学校生活	アンケート20 「満足した学校生活を送っている」	<p>Legend: ■① ■② ■③ ■④</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>0.426152493</td> <td>0.42228739</td> <td>0.099706248</td> <td>0.05185333</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0.301003344</td> <td>0.538461538</td> <td>0.1371287029</td> <td>0.023534719</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>0.7317073</td> <td>0.853658537</td> <td>0.07317073</td> <td>0.34145316</td> </tr> </tbody> </table>				Category	①	②	③	④	生徒	0.426152493	0.42228739	0.099706248	0.05185333	保護者	0.301003344	0.538461538	0.1371287029	0.023534719	教員	0.7317073	0.853658537	0.07317073	0.34145316	4	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は昨年度と同傾向にある。全体として、生徒の満足度は高い傾向である。 生徒の満足度は85%(中間評価+5%)となった。しかし、満足していない生徒は15%(中間評価-5%)になった。 自由記述で記載されている学習環境の整備については冷房や暖房の使用時間を増やしてほしいという要望が毎年出ている。学校としては燃料費を切り詰めてきたが、限界である。10年間値上げしていないPTA会費(冷房代費)の値上げの検討しPTA役員会で承認された。また、進路に対する記載が非常に多い、進路指導部の課題を検討していく。問1についての改善として2年次は春休みに3者面談を実施し、進路相談の機会を設ける。 保護者の回答も生徒と同様な割合となった。昨年度と同程度である。
		Category	①	②	③	④																									
生徒	0.426152493	0.42228739	0.099706248	0.05185333																											
保護者	0.301003344	0.538461538	0.1371287029	0.023534719																											
教員	0.7317073	0.853658537	0.07317073	0.34145316																											
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は、本校の教育活動全体の総括と捉えている、各項目をPDCAサイクルで検証し、次年度につなげていく。 具体的な取り組みは、それぞれの年次や校務分掌、各教職員が担っている。今後も本結果を重視し、家庭、地域と更なる連携を実施し、生徒の高校生活が充実したものとなるよう取り組んでいきたい。特に学校行事はコロナ禍の中創意工夫をし実施していく。 																														